

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第 7 回 募金・協賛推進特別委員会

会議資料



2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター
「キャッピー」 「チャッピー」

日時：平成 30 年 3 月 26 日（月）10:00～12:00
会場：滋賀県大津合同庁舎 7-C 会議室

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
平成 29 年度 取組実績 (案)

1 寄附の実績 (H30.3.31 現在)

平成 29 年度実績 30,424,002 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	65 件	364,524 円	(うち着ぐるみ製作 : 364,524 円)
企業・団体	19 件	29,472,600 円	(うち着ぐるみ製作 : 164,000 円)
イベント	26 件	400,112 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金 (うち着ぐるみ製作 : 303,205 円)
据置き募金箱	—	105,766 円	(うち着ぐるみ製作 : 7,143 円)
その他	2 件	81,000 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))、チャリティーオークション売上金
計	112 件	30,424,002 円	(使途) 競技力向上 5,359,799 円 施設整備 24,207,861 円 広 報 838,872 円 (チャップイー着ぐるみ製作)

<参考>

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	計
件 数	2 件	78 件	93 件	112 件	285 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,425 千円	84,811 千円

2 主な取組

(1) 個人

① 街頭やイベント会場での募金活動の実施

より多くの方に大会開催の周知と募金に協力いただけるよう、寄附返礼グッズとして、大会マスコットキャラクターを活用した缶バッジやステッカーを作成し、イベント等での募金活動で活用した。

また、県内アスリートの協力を得て、街頭募金活動を実施するとともに、大会マスコットキャラクターであるキャプフィーと昨年新たに仲間に加わったチャップフィーと一緒に両大会の周知および募金活動を実施した。

> 寄附返礼グッズの作成

缶バッジ 9種類 (8,000個)

ステッカー 3種類 (1,000枚)

> 街頭募金活動 (9/22 JR石山駅、JR草津駅)

参加者：東レアローズ、MIOびわこ滋賀、立命館大学バスケットボール部、宇田秀生選手(パラトライアスロン)、宮路満英選手(パラ馬場馬術)、びわこ成蹊スポーツ大学バスケットボール部、滋賀県体育協会、滋賀県障害者スポーツ協会他 合計98名

> スポーツイベント等での募金活動

- ・BIWAKO湖フェス(9/3 びわこポートレース場)
- ・彦根陸上競技場さよならイベント(9/24 彦根総合運動場陸上競技場)
- ・彦根元気フェスタ2017(10/9 彦根総合運動場陸上競技場)
- ・ご当地キャラ博 in 彦根2017(10/21 彦根市街地商店街)
- ・クリーンセンター滋賀感謝祭(11/11 クリーンセンター滋賀)
- ・びわ湖男女駅伝フェスティバル(11/19 希望が丘文化公園)
- ・滋賀オールスタージュニアサッカー教室(12/29 長浜バイオ大学ドーム)
- ・近江ゆかりの会(2/5 東京：品川プリンスホテル)
- ・彦根市民体育センターサヨナライベント(2/24 彦根市民体育センター)
- ・びわ湖レイクサイドマラソン(2/25 烏丸半島(フィニッシュ地点))
- ・びわ湖毎日マラソン大会(3/4 皇子山陸上競技場)

② クラウドファンディングの手法を用いた寄附募集の実施

新マスコットキャラクター「チャップフィー」の着ぐるみ製作にかかる寄附募集にあたり、クラウドファンディングを活用した寄附を募った。

(実施期間：8/1～9/20 JapanGiving)

③ スポーツイベント等とのタイアップの実施

イベント会場での広報・募金活動の他、「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリテ

イーランナーの募集や「滋賀オールスタージュニアサッカー教室」でのチャリティーオークションに参加し、参加料の一部や売上金を寄附いただいた。

- ・びわ湖レイクサイドマラソンチャリティーランナー 52名 26,000円
- ・滋賀オールスタージュニアサッカー教室チャリティーオークション 55,000円

④ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設への設置協力を依頼し、設置した。

- ・平成29年度末募金箱設置箇所 81カ所

⑤ 募金箱ステッカーデザインコンテストの実施

県内の小・中学生を対象に作品を募集、入賞作品のステッカーを貼付した募金箱を県内のスポーツ施設を中心に設置した。

- ・募集期間 平成29年7月1日～9月13日
- ・応募点数 36点
- ・最優秀賞1点、優秀賞3点を表彰するとともに、デザインをステッカーとして採用。

(2) 企業・団体

① 国体・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼の強化

各種企業・団体を訪問し、寄附依頼を行うとともに、例会等の場で大会の開催と寄附募集活動の周知を行った。

- ・企業・団体訪問 10件
- ・国体・全スポの出前講座と併せた寄附依頼の実施 4件
(企業からいただいた主な意見:寄附金にどんな事業に充てられたのかを明示してもらえると、寄附しやすい。)

② 寄附者にメリットのあるメニューの検討

企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、企業・団体にとってもメリットのある寄附メニューを平成30年度から実施できるよう検討した。

③ 大会マスコットキャラクターを活用した寄附の受け入れ

企業等が商業目的で大会マスコットを活用し、使用料を寄附金として受け入れる制度を設けた。

④ インターネットでの周知・協力依頼

新たに大会専用ホームページを開設し、バナー表記による募金ページへのリンクにより、アクセスしやすく、手軽に寄附募集に関する情報を得やすい構成とした。

(3) 寄附金を活用した事業展開

①「選手の育成および強化」のためにいただいた23万円については、平成29年度に実施した競技力向上事業に充当した。

➤次世代アスリート発掘育成事業 13万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、受験者から約30名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

➤パラスポーツチャレンジプロジェクト 10万円

特別支援学校でのスポーツ活動の充実に向け、県内にチームがない団体種目（知的障害の男女バレーボールや聴覚障害の女子バレーボール、知的障害フットベースボールなど）のチームを編成するなどの取組を行った。

②「広報」のためにいただいた83万円については、大会マスコット「チャッピー」の着ぐるみ製作費に充当した。

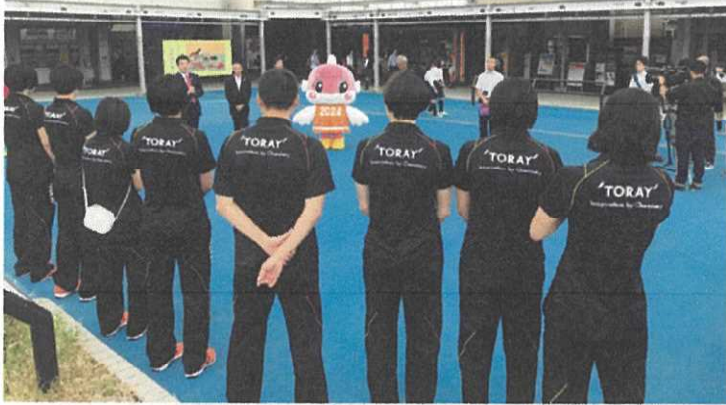
➤「チャッピー」着ぐるみ製作 83万円

平成29年度の取組実績

個人



平成29年9月22日
街頭募金



平成29年12月29日
滋賀オールスタージュニアサッカー教室



平成29年11月11日
クリーンセンター滋賀感謝祭



平成29年2月5日
近江ゆかりの会



平成30年2月24日
彦根市民体育センターサヨナライベント



大会専用ホームページ

寄附返礼グッズ



募金箱ステッカーコンテスト

企業・団体



平成30年2月19日
寄附者への感謝状贈呈

寄附金の活用



平成29年8月1日～9月20日
「チャッフィー着ぐるみ製作に向けた寄附募集チャレンジ」



次世代アスリート発掘育成事業
「滋賀レイキッズ」

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る 平成 30 年度 取組計画 (案)

平成 30 年度においては、昨年決定した大会マスコットキャラクターのデザインを用いた寄附返礼グッズや大会専用ホームページの活用による募金活動の展開、マスコットを用いた商品展開や PR グッズ等の活用による企業への働きかけの強化などを主軸として、以下の取組を進める。

1 個人

引き続き寄附受付の手段を拡大するとともに、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

(1) 寄附付商品販売の検討 (新規)

大会マスコットキャラクターをデザインしたピンバッジやぬいぐるみ、SNS アプリのスタンプなど、幅広い世代を対象とした寄附付商品の開発・販売を検討

(2) 街頭やイベント会場での募金活動の実施

大会マスコットキャラクターを使用した寄附返礼グッズ等を活用し、県内のアスリートにも参加協力を依頼して実施

(3) クラウドファンディングによる寄附の受入れ

手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、インターネット寄附ポータルサイトを活用して寄附を受け入れるとともに、平成30年3月に開設した大会専用ホームページとの相互リンクにより寄附募集を周知

(4) 募金箱の設置箇所の拡大

県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を積極的に依頼

(5) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施拡大

2 企業・団体

直接訪問による依頼を強化するとともに、企業活動の取組の一環として大会準備を応援していただけるような、多様な手法を積極的に提示する。

(1) 直接訪問による具体的なメニューの提示 (新規)

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼を行うとともに、寄附者にメリットのある寄附手法をメニュー化して提示し、企業のニーズに応えられるような提案を行い、さらなる寄附を獲得

➤マスコットキャラクターを活用した商品展開の促進

大会マスコットキャラクターを活用した商品の開発や販売を通じて、大会開催の周知および商業目的利用における寄附を受入れ

➤「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」の実施

企業・団体名の入った寄附グッズを作成・配付することで、企業等による大会への寄附機会の拡大に併せ、寄附グッズの活用を通じ、大会および本県のスポーツ推進を周知

➤「飲んで応援！プロジェクト」の実施

特定非営利活動法人寄附型自動販売機普及協会の協力のもと、寄附型自動販売機を活用し、自販機設置協力者があらかじめ設定した飲料一本あたりの寄附額に基づく寄附を受入

(2) 国体・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼の強化

県内外の企業への訪問を強化するとともに、県内の商工団体をはじめとする各種団体、国内各地の滋賀県人会の協力を得て、大会開催の周知に併せ、ふるさと滋賀での大会開催に向けた寄附の依頼を実施

3 寄附金を活用した事業展開

「選手の育成および強化」のためにいただいた1,000万円については、平成30年度に実施する競技力向上事業に充当。

(1) 次世代アスリート発掘育成事業 500万円

引き続き「滋賀レイキッズ」に対し、育成プログラムを実施し、将来のアスリートを育成

(2) ターゲットエイジの重点強化事業 300万円

滋賀で開催する国体で少年種別の主力となる選手（小学校3～6年生）を指定し、重点的に強化事業を実施

(3) 競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート強化） 200万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施